

文豪

文豪と呼ばれる作家たちの、意外な一面をうかがえる本を集めてみました。秋の夜長のお供にいかがでしょう。

名作文学に見る「家」

(小幡陽次郎・横島誠司 朝日新聞社 1992.12)
少し前の資料ですが、文豪たちの作品に登場する『家』を作中の記述をもとに図面化した、他にない切り口の文学お楽しみ本。
怪人二十面相の隠れ家も出てきますよ。

文豪妖怪名作選

(東雅夫 編 東京創元社 2017.8)
この作家が、と以外の念に打たれる作も。桃太郎退治に出陣する鬼(尾崎紅葉、挿絵付)、ムジナ論三連(小泉八雲・芥川龍之介・瀧井孝作)、金沢三文豪(鏡花・犀星・秋声)の怪異譚などなど、お楽しみあれ。

漱石とホームズのロンドン

(多胡吉郎 現代書館 2016.7)
ロンドンに留学した漱石は、女王崩御・20世紀開幕という時代の峠をホームズと共有していた。二人のエピソードを重ねて対峙させ、テムズの南北格差・ロシアとの緊張など、当時の世相が照射されます。

文豪ストレイドッグス外伝

綾辻行人VS.京極夏彦
(朝霧カフカ KADOKAWA 2016.1)
同名コミックスのスピノフ小説。
『殺人探偵』綾辻と『妖術師』京極の因縁。見守るはコードネーム『4048』辻村深月。
ミステリ風味の異能力バトルエンタテイメントです。

— 知らなかった貌 —

文豪と暮らし—彼らが愛した物・食・場所—

(開発社 編 創藝社 2017.6)
文豪達にとって、創作の原動力にも癒しにもなった者や場所を紹介。樋口一葉の意外な宝物、北原白秋命名の美酒、芥川龍之介の遺稿にもでる本邦最古のカフェー。彼等の素顔が見えてくるようです。

第14回

眠れる森の美本

『明治の銅版画-郵便-』

澤まもる / 編著

(明治銅版画研究会 1980)

編著者である澤氏が自身の研究の傍らに収集した明治期の銅版画のうち、郵便に関するものを一編に編みなおした本書は、郵便事業に興味のある方々のみでなく、明治期の建築物や看板等についても詳細を見ることができる、貴重な一冊です。



ちらっと



Chiratto
Vol.14

2018年10月-2018年11月号

特集1

つくってみよう! D.I.Y

特集2

文豪-知らなかった貌-

連載

眠れる森の美本

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ
FM西東京で紹介した本



つくってみよう!

D.I.Y

Do It Yourself!

「市販のサイズの棚が入らない・・・」「イメージ通りのインテリアがほしい・・・」
それなら自分でつくってみよう! お手軽に楽しめるDIYから、本格派まで。
図書館の資料で自分にぴったりの手作りはじめてみませんか?

『部屋をおしゃれにリメイクする本
—すぐマネできる“カンタン+楽しい”DIYヒント—』
(学研プラス 2018.9)

お気に入りの家具を手作りし、ベストなお部屋にカスタマイズ! 手順をマネるだけでできるお手軽家具の作り方を詳しく解説。

『女子DIYの教科書—二子玉川tukuribaスタイル—』
(tukuriba/著 講談社 2016.11)

“自身作”と暮らそう! 「はじめての女性でもできるDIY」をコンセプトにした東京・世田谷区のDIYショップ「tukuriba」オリジナルの25作品の作り方を写真とともに紹介します。

『簡単!住まいのDIYマニュアル』シリーズ
(スタジオタッククリエイティブ)

「壁紙」「タイル張り」「水回り」など、多数の写真とともに解説。

『おしゃれDIYウエディングの作り方』
(テイクアンドグヴ・ニーズ/著 世界文化社 2017.7)

手作りアイテムで結婚式をふたりらしく! おしゃれなウエディングスタイルを発信する「TRUNK BY SHOTO GALLERY」の人気クリエイター達が、誰でも簡単にできるDIYアイデア&テクニック78例を紹介。

『DIYで作る!男のガレージ&工房』
(学研プラス 2017.5)

セルフビルド、リノベーション、キットハウス…。11人のガレージスタイルを紹介。ガレージライフDIYグレードアップ術、達人から学ぶ理想のものの作り空間、ガレージ&工房グッズなども収録。

『暮らしの実用シリーズ DIY』
(学研プラス)

「DIY基本テクニック百科」「手作りガーデンリビング百科」「DIYでできる!壁・床リフォーム&メンテナンス百科」など。

図書館からのお知らせ

文化講演会「『争族』にならないために
～知っておきたい初めての相続～」

日時: 平成30年11月17日(土)

午後2時～4時(午後1時30分開場)

場所: 田無公民館 視聴覚室

終活や相続に関する講演会です。申し込みは11月1日(木)午前10時より中央図書館まで、電話または来館、Eメールにて受付いたします。

F M西東京で紹介した本

『箸袋でジャパニーズ・チップ!—テーブルの
うえで見つけたいろんな形—』

学生時代に飲食店でアルバイトをしていた著者が、お客さんが帰った後にテーブルに残った箸袋の造作物を、お客さんからの「ありがとうのしるし」と受け取り「ジャパニーズ・チップ」と名づけたことがはじまり。この本には、そんな著者が2016年4月～2017年8月まで、約1年半かけて全国47都道府県を軽自動車で巡り集めた、様々な形の、誰かが折った「ありがとうのしるし」がたくさん詰まっています。

『アラカン・サバイバルBOOK
—ババアはつらいよ—』

2020年には、女性の2人に1人が50代以上になると言われています。二度と来ない今日を楽しんでいる人が、良いババアなのでは? ババアになってはいけないなどと、誰が言ったのか。アラカンスタイリスト地曳いく子とアラカン漫画家榎村さとるが、おしゃれから生き方、パートナーとの関係まで、アラカン女子が直面する危機を楽しく乗り越えるヒントを語り尽くす一冊。歳を重ねた分だけ、本当はいいことがあるんです。

発行: 西東京市図書館

<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>